

インフルエンザ罹患に伴う 異常行動研究

2008/2009シーズン報告

平成21年度厚生労働科学研究費補助金
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業
「インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動の情報収集に関する研究」
研究代表者 国立感染症研究所 岡部信彦

研究班

研究代表者

- 岡部信彦（国立感染症研究所感染症情報センター長）

研究分担者（五十音順）

- 大日康史（国立感染症研究所感染症情報センター主任研究官）
- 谷口清州（国立感染症研究所感染症情報センター第一室室長）
- 宮崎千明（福岡市立西部療育センター長）
- 桃井真里子（自治医科大学小児科学教授）

報告の内容

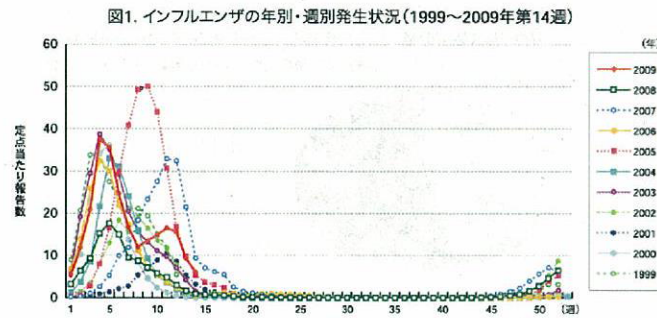
- インフルエンザ2008／2009シーズン
- 調査概要
- 重度の分析
- まとめ

3

インフルエンザ 2008／2009シーズン

4

図1.インフルエンザ患者報告数



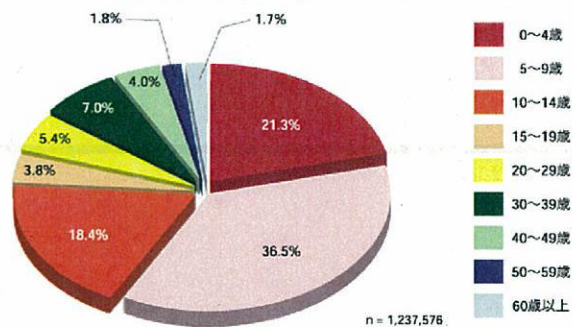
(2008／2009)

出典:発生動向調査

5

図2.年齢別インフルエンザ患者報告数

図4. 2008/09シーズンのインフルエンザ累積報告数の年齢群別割合(2008年第36週～2009年第14週)



(2008／2009)

出典:発生動向調査

6